

人材不足の現状と課題 について

北九州市産業経済局
雇用・産業人材政策課





I 北九州市の雇用情勢

II 4つの課題

- 1 若者の採用や定着
- 2 多様な人材の活躍
(女性・シニア・外国人)
- 3 多様な働き方
(副業・スポットワーク・テレワーク等)
- 4 DX等の生産性向上

I 北九州市の雇用情勢

I 北九州市の雇用情勢

就業人口の動向

約**40**万人(R2年国勢調査)

R2年就業人口は400,010人 5年前に比べ▲**15,082人(▲3.6%)**

※就業人口のピーク 約46万人(昭和45年国勢調査)

■特に25～44歳の減少が顕著

(H27年度)

163,917人

(R2年度)

136,261人

▲27,656人

■ミドル・シニア世代の労働参加が進む

(H27年度)

(45歳～54歳)

88,833人

(R2年度)

94,294人

+5,461人

(70歳～79歳)

18,075人

29,205人

+11,130人

I 北九州市の雇用情勢

増加業種TOP3 (R2とH27比較)

1位 医療福祉	+ 2,357人
2位 サービス業	+ 1,090人
3位 教育・学習支援	+ 236人

減少業種TOP3 (R2とH27比較)

1位 製造業	▲3,971人
2位 卸・小売業	▲3,719人
3位 生活関連サービス業	▲1,661人

I 北九州市の雇用情勢

北九州地域の職業別有効求人倍率

(R7.1月)

職種間のミスマッチ



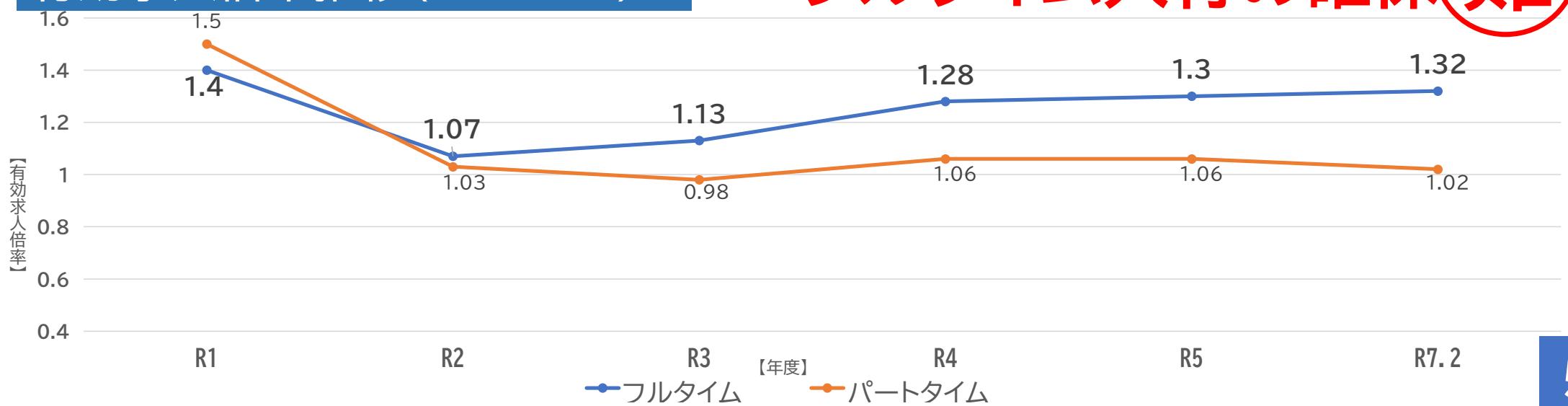
建設の職業: **5.01倍**

介護サービス: **3.71倍**

輸送・機械運転: **2.41倍**

有効求人倍率推移(R1~R6)

フルタイム人材の確保**難**



I 北九州市の雇用情勢

所得・収入関連の指標とベンチマーク

北九州市の雇用者一人あたりの雇用者報酬

政令市比較（県民経済計算R2）

(千円/人)

1位 大阪市 5,881

2位 川崎市 5,386

3位 仙台市 5,365

政令市平均 5,054

13位 北九州市 4,631

16政令市中
第13位

I 北九州市の雇用情勢

所得・収入関連の指標とベンチマーク

■ 北九州市の業種別従業者数 上位3業種（国勢調査R2）

1	医療・福祉	6万8千人 (17.0%)	全体の <u>33.0%</u>
2	卸小売業	6万4千人 (16.0%)	
3	製造業	5万8千人 (14.5%)	

■ 北九州市の業種別所得分布 (R4 民間給与実態統計調査)

～年収 **500万円以上** の従事者数～

✓ 全産業の平均値	22%
✓ 電気・ガス・熱供給・水道業	42%
✓ 製造業	33%
✓ 情報通信業	31%
✓ 医療・福祉、卸小売業	15～16%

他業種と比べ所得が低位

II 4つの課題

1 若者の採用や定着

2 多様な人材の活躍
(女性・シニア・外国人)

3 多様な働き方
(副業・スポットワーク・テレワーク等)

4 DX等の生産性向上

II 4つの課題

4 DX等の生産性向上(課題)

市内産業の付加価値額

一人あたり付加価値額 **462万円(政令市17位)**

※政令市平均543万円/人

【参考－業種別労働生産性】

○製造業	614万円／人	政令市 6位
○医療、福祉	420万円／人	政令市10位
○宿泊・飲食サービス業	145万円／人	政令市17位
○卸売・小売業	431万円／人	政令市18位

(出所:R3経済センサス、大企業含む)

II 4つの課題

4 DX等の生産性向上(課題)

DX・デジタル化への取組意識

(出所:R5年度北九州市雇用動向調査)

『行うつもりはあるが手を付けられていない』 : 16.4%

【主な業種(平均以上)】

不動産業:25.0%、運輸業:20.8%、サービス:19.6%、医療福祉:19.3%、教育学習:18.8%、製造業:18.7%

『行う必要はない』 : 38.2%

【主な業種(平均以上)】医療福祉:46.9%、建設業:45.2%、宿泊飲食:40.0%

社内人材に対するリスクリング

『特に考えていない、よくわからない』 : 51.1%

仮 説

経営層の意識変革が進んでいない
のではないか？

II 4つの課題

4 DX等の生産性向上(これまでの取り組み)

ロボット・DX推進センター

ロボット導入・DX推進による生産性向上支援

(累計 相談受付 **462**回、専門家派遣 **1,682**回)

経営層向けエグゼクティブビジネススクール

経営者がDXの意義や重要性を学びマインドセットを促す

(**72**社、専門家派遣 **90**名受講 (R1～R5))

【好事業例】

AIとオンラインを活用した現場監督システムを開発

(有限会社ゼムケンサービス)

現場リーダー向け生産性向上スクール

IoT・デジタル分野、ロボット分野などで活用できる人材を育成

(基礎編:**984**名、IoT・デジタル編:**489**名、ロボット編:**390**名 計**1,863**名(H29～R5))

【好事業例】

AIを活用した外観検査システムを開発 (株式会社リヨーワ)

II 4つの課題

4 DX等の生産性向上(これまでの取り組み)

中小企業の経営資源(ヒト・モノ・カネ)の強化支援

【ヒト:人材確保・育成支援】

- 職場環境改善支援助成金
- 経営リーダー育成事業 など

【モノ:設備投資支援】

- 先端設備等導入計画認定
- DX推進補助金
- 産業用ロボット導入支援 など

【カネ:資金調達・売上拡大支援】

- 先端設備等導入計画認定
- DX推進補助金
- 産業用ロボット導入支援 など

II 4つの課題

4 DX等の生産性向上(これまでの取り組み)

北九州DX大賞

DXで事業変革する市内中小企業を表彰する「**北九州DX大賞**」を令和5年度に創設。

■令和6年度受賞企業 グランプリ：社会医療法人製鉄記念八幡病院
準グランプリ：(株)白海 他1社

■令和5年度受賞企業 グランプリ：(株)西原商事ホールディングス
準グランプリ：(株)戸畠ターレット工作所 他1社

西日本DX推進フェア2025

毎年7月に西日本総合展示場にて、課題解決EXPOを構成する展示会として、
DX・ロボットに関する大型イベントを開催

市内企業のDXに向けた機運醸成、支援施策の周知広報、DXの情報を発信
対談企業として、

(株)リヨーワ、(株)西原商事ホールディングス、小倉セメント製品工業(株)が参加

II 4つの課題

4 DX等の生産性向上(トピック)

北九州リスキリングキャンパス

8月開講

従業員向けに

人材戦略の策定支援、マネージメント、マーケティング、デジタル・AI、
経営層のDXに関するマインドセットの座学研修や実践研修を実施

今の仕事にとどまらず、新しいスキルを身に付け、
変化へ柔軟に対応するための

「人材育成を通じた企業成長の後押し」を支援

目標



MIRAIWORKS ×



Kyutech ARISE ×



北九州市
CITY OF KITAKYUSHU

50社 250人の参加